

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和3年 1月 22日

事業所名： おひさま園

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・十分な確保をしている 利用児に応じて、パーテーションで仕切りながら、子ども達が落ち着いて過ごすことが出来るように工夫している	・広すぎず狭すぎず子どもにはちょうどいいと思う。	部屋の広さは、ちょうど良いです。広すぎて、注意が散漫にならないように、パーテーションを上手く利用している
	2 職員の適切な配置	・適切な配置をしている	・密に関わってもらっていてありがとうございます。 ・十分な人数で見て下さって手厚いと思います。	適切な配置をしている
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・子どもに合わせて、見通しが持てるように環境を設定したり、絵カードや写真を利用して分かりやすくしている	・子どもにわかりやすい自分のマークが所々にあり、目で見てもわかりやすい。	利用者に合わせて色々な対応の工夫をしていく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日の掃除をしっかりと行っている ・室内へ入る時や昼食、おやつ前には必ず手を洗い、消毒をしている ・玩具の消毒も定期的に行っている	・十分に満足しています。 ・どの部屋も明るくてよいと思う。	日々の掃除や玩具の消毒をしっかりと行っている
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・毎朝、朝礼を行って、活動の流れを確認するようにしている ・個別に支援を必要とする子どもについては、カンファレンスを行い支援についてスタッフ間で統一するようにしている ・日々の反省もしっかり行い、終礼を持つことで他のクラスのことも全職員が把握できるようにしている	/	日々の打ち合わせや反省をしっかりと行っていく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・他事業所の職員と合同カンファレンスを行い、意見交換の場は設けている	/	実施していない
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部での研修の機会がある時は、スタッフが自主的に参加するようにしている ・また外部の研修に出たスタッフは研修報告で他のスタッフに報告する機会を持っている	/	園内研修を行ったり、外部での研修には参加するようにしている
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・利用児の課題や支援方法について検討する会議の場を設けている	・悩みごと問題など詳しく聞きとって頂き、一つひとつ丁寧に分析されていると思います。	職員間でアセスメントを行い、計画書を作成している
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・カンファレンスを行い、計画を立てている		子ども一人一人の発達の特徴をつかむため、職員間でアセスメントを行って計画に取り入れるようにしている
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・スモールステップで子どもたちが実際に達成できる目標を立てるように心掛けている	(ご意見なし)	保護者に分かりやすいような計画書の記載を心掛けていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・利用児の今の目標を職員が意識できるように打ち合わせで話すようにしている	・子どもの成長のステップアップに合わせた支援をして下さっていてありがたいです。	子ども一人一人の目標をスタッフが把握して取り組めるようにしていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・園会議を持ち、子どもたちが楽しめる活動内容の工夫をしている	・1ヶ月の活動プログラムスケジュールなどがあり、前もって活動の内容がわかるのはいい。 ・工夫されていると思います。好き嫌いがはっきりしている我が子を見て思う。	園会議やクラス会議を持つようにしている
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・休日の前には、保護者に次回の利用日の確認をしたり、休み明けには家庭でどのように過ごしていたかを確認して支援している		長期休み前には、次回の予定の確認をしたり、病気で休まれている場合は、具合の確認をしている。休み明けには、家庭での様子も確認して、保護者の困り感を把握できるようにしている
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・同じようなプログラムにならないように、スタッフ間でプログラムについて話をしたり、楽しい活動を本やインターネットで調べたりしながらプログラムを行うようにしている		プログラムがマンネリ化しないように工夫していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・職員間で朝礼を行い、朝の打ち合わせをしている		打ち合わせをしっかりと行い、支援内容や役割分担の確認を毎日行っている
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・各クラスで反省を行い、職員間で共有できるように終礼でクラスの反省や様子を伝えあっている		反省会を十分に行い、同じ反省が繰り返されないようにしている
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の日誌を記入して、次の日に活かせるように徹底している		記録をしっかりと書くようにしている 継続していく
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとに個別支援計画書を作成・見直しを行い、その際に保護者との面談を持ち、現状の報告をして保護者のニーズを再確認している		定期的に会議を持ち、計画書の見直しをしていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・担任やサービス管理責任者が積極的に担当者会議に参加するようにして、利用児の様子を見ながら、必要に応じて会議を持つように提案している	積極的に担当者会議に参加して必要に応じて会議を持つようにしている	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし	利用児なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし	利用児なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・送迎でお迎えに行った時には、子どもの様子を尋ねるようにしたり、連携会議を持つようにして、支援内容を共有している ・サポートブックの作成を積極的に取り組んでいる	サポートブックの作成を積極的に取り組んでいる	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・就学前は保護者との面談を多く持ち、小学校との話し合いも行っている	就学前には、面談を多く持つようにして、小学校との話し合いも行うようにしている	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、積極的に参加するように勧めている	研修には、積極的に参加することを勧めていく	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現在、交流は行っていないが今後考えていく	・入園してからはまだ交流、活動はない。 ・クラスメイトの兄弟児との交流はあり。 ・必要性がわかりません。個人で交流するのがいいと思います。園として集団同士の交流はハードルが高いのでは。	地域との交流は、現在行っていないが今後考えていく
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域の子ども達と保護者が来る日を作っている	引き続き、地域の子ども達と保護者の方が来る日を作っていく	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時にしっかりと説明している	(ご意見なし)	契約時に説明している
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・面談を持って、保護者と話をしている	(ご意見なし)	面談を持ち、保護者と話をしている
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・子育てについての座談会(おひさま会、ママ会)などの実施をしている	・よくわからない。 ・おひさま会や幼児ママ会などでのご勉強になり、支えられています。	おひさま会・ママ会の実施
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・日々、連絡帳や送迎時に密に話をするようにしている	・毎日の状況、活動内容を詳しく伝えてくださり、子どもの様子が想像しやすくありがたい。 ・LINEもあり、密にコミュニケーションをとって頂いています。	日々の様子を連絡帳で知らせたり、送迎時に話をするようにしていく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者から相談があった時には、現場のスタッフやサービス管理責任者が検討して相談・助言等の対応をしている	・悩みがでたら、その都度、助言をいただけて助かります。	いつでも相談に乗れるようにしている
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・子育てについての座談会(おひさま会、ママ会)の日程は、保護者の参加しやすい日程を調整している	・毎月、大小さまざまな保護者会があり、いいと思う。 ・おひさま会のつながりはとても大切に思います。開催時の先生方のご配慮もありがたいです。	保護者が参加しやすい日程でおひさま会やママ会をしている。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・保護者の思いを十分に聞くようにして、その都度対応している	・頼み事など早急に対応してくださっているのでありがたいです。 ・苦情を出したことがないので、わからない。	保護者の思いを十分に聞くようにして、その都度丁寧な対応を心掛けていく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・写真や絵カードを活用しながら、分かりやすく伝えるようにしている	(ご意見なし)	写真や絵カードを利用して、分かりやすく伝えるようにしている
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・ホームページの更新や保護者へのお便りで知らせている	・おひさま園だより、ホームページ、いつも楽しみにしています。	ホームページの更新を定期的に行い、毎月おひさま便りを配布している
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・児童のことに関しては、事業所内で話をするようにし、書類を破棄するときも個人情報の書いているものは、必ずシュレッダーにかけて捨てるようにしている ・ホームページは、利用者に確認をとってから、写真を掲載するようにしている	(ご意見なし)	同意をもらい、取り扱っている

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを事業所に設置し、職員は目を通している	・新型コロナウイルス対策については伺いました。入園時に緊急時の説明もして頂いたの思い出しました。	マニュアルの作成をしている
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的に避難訓練を行い、AEDの研修にも積極的に参加していく	(ご意見なし)	定期的に避難訓練を行っている
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・子どもや保護者の小さな変化を見逃さないようにする		子どもや保護者の小さな変化を見逃さないように心掛けている
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束は、行っていない ・離席のある子どもに座るよう促す時の対応では、保護者に説明して理解を得ている		身体拘束は基本的に行っていない。離席のある子どもを座るよう促すときには、保護者への説明をするようにしている
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者からの聞き取りと調査票への記載をしている		保護者からの聞き取り、調査票への記載をしている
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・職員間での共有をして、同じことが起こらないように工夫している		職員間での共有をして、同じことが起こらないように工夫している